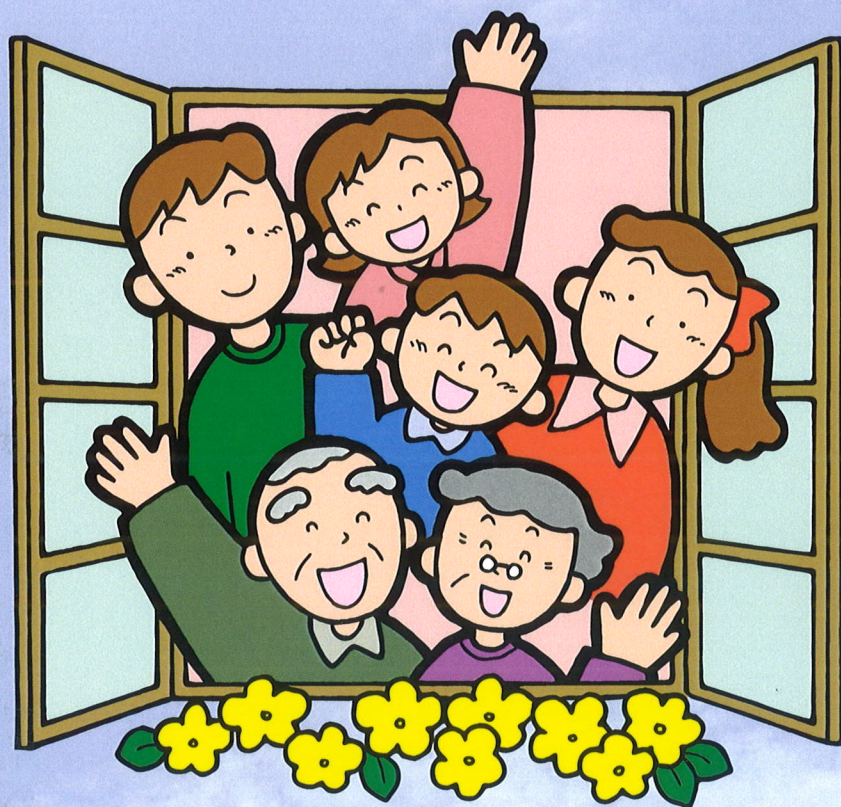


市民の日記念事業

賢く使う在宅医療・介護のススメ

～知っていますか？在宅で過ごすことの魅力～



日時 平成 25 年 6 月 1 日(土) 13:00 ~ 15:40

場所 さん太ホール

主催 岡山市

後援 岡山市医師会、岡山市内医師会連合会、岡山市内歯科医師会連合会、
岡山県病院協会、岡山市薬剤師会、岡山県看護協会、
岡山県訪問看護ステーション連絡協議会、岡山県介護支援専門員協会

Program

13時00分～15時40分(開場12時30分)

- ▶13時00分～ 開会挨拶 岡山市副市長 金谷裕弘
▶13時05分～ 講演
「家庭医・かかりつけ医をもてば超高齢化社会も安心！」
～0歳から100歳までの継続外来と
訪問診療をカバーする家庭医療の世界～」

松下 明氏(日本プライマリ・ケア連合学会理事)

・・・休憩・・・

- ▶14時05分～ シンポジウム
「在宅医療・介護の現場から～在宅で過ごすことの魅力～」

●コーディネーター

浜田 淳氏(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授)

●シンポジスト

佐藤涼介氏(医師)

古市由香氏(訪問看護師)

松井孝光氏(ケアマネジャー)

大森町子氏(小規模多機能型居宅介護事業所)

新田弘子氏(看取り経験者)

Profile



松下 明氏

日本プライマリ・ケア
連合学会理事
奈義ファミリー
クリニック所長

平成3年 山形大学医学部卒

平成3年 川崎医科大学総合診療部 初期・後期研修

平成8年 米国ミシガン州立大学関連病院にて
家庭医療学レジデント3年間の研修終了時
STFM Resident Teacher Award を受賞

平成11年 川崎医科大学総合臨床医学講師

平成13年より奈義ファミリークリニック所長

米国家庭医療学専門医・日本内科学会認定医・日本プライマリ・ケア連合学会認定医
および指導医。日本プライマリ・ケア連合学会理事。岡山大学大学院客員教授・
三重大学臨床准教授・川崎医科大学非常勤講師

プライマリ・ケアという言葉聞いたことはありますか？高度先進医療を行う大病院の医療を
三次医療と位置づけると、その対極の診療所での一次医療がプライマリ・ケアになります。患者
さんの身近で、かかりやすく、常に相談に乗りながら、持って来られる問題の95%以上を解決
できる能力をもち、必要な時に適切な専門医に紹介できる、かかりつけ医のことを家庭医と呼び
ます。家庭医はこのプライマリ・ケアの専門家なので、0歳児から100歳まで幅広く外来を継続
してみている中で、〇〇さん一家の健康問題に深く関わり、家族ぐるみでの健康管理を行います。
患者さんが弱って往診が必要となると、地域資源(訪問看護、ヘルパー、ケアマネ、ディサービスなど)
と連携しつつ、24時間体制で訪問診療を行います。

岡山県北で家庭医療の後期研修を提供しつつ、上記のようなプライマリ・ケアの専門家として
家族ぐるみのかかりつけ医、家庭医をしている立場で、在宅医療のやりがいと患者さんやご家族の
満足度なども含めてお伝えできればと思います。

●シンポジウム

在宅医療・介護の現場から ～在宅で過ごすことの魅力～

コーディネーター 浜田 淳氏(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授)

長期療養や介護が必要になったとき、できれば長年住んできた自宅で、療養やリハビリを受けたい……こうした願いに答えてくれるのが、家庭医であり、ケアマネジャーや訪問看護師、理学療法士、介護士といった人たちです。しかし、在宅ケアの実情は市民に十分知られていないのではないのでしょうか。このシンポジウムでは、在宅ケアにかかわる従事者や看取りの経験者のお話を通じて、市民のみなさんが自分や家族の在宅ケアを考える際に手助けとなる材料を提供したいと思います。

医師 佐藤 涼介氏(佐藤医院)

皆様、一人暮らしでも在宅で納得のいく看取りが可能なことをご存知でしたか？在宅には見慣れた景色、古くからのお友達、安心できる場所があります。そして、訪問看護、訪問介護、通所リハビリ、通所介護、ケアマネジャー、かかりつけ医などがきめ細かな対応をしてくれて、ご本人が希望すれば、最期まで在宅で全うすることも十分可能です。当日は事例を上げながら在宅医療の良さについてお話をいたします。

訪問看護師 古市 由香氏(岡山市医師会訪問看護ステーション)

訪問看護は住み慣れたわが家で自分らしく生きる方々を専門スタッフが訪問し、看護を行うサービスです。24時間連絡がとれる体制になっており、相談や緊急時訪問を行うことで「24時間の安心」のニーズに応え予防から看取りまでを支えます。ご本人とご家族の思いをじっくりと聴き、思い寄り添い、少しでも笑顔で過ごす事ができ、「最期まで生きる」ことを支える在宅ケアチームの一員として、お手伝いさせていただきます。

ケアマネジャー 松井 孝光氏(愛光苑在宅介護支援センター)

介護保険制度スタートから10年以上が経過した昨今ではディサービス等の介護サービスが広く浸透してきましたが、従来の訪問看護、訪問リハビリなどに加え、現在では定期巡回・随時対応型サービスなど医療面にも目が向いた新しい介護サービスが充実してきているのをご存知でしょうか？本日は「医療行為を受けながらも自宅で安心した生活を送ることのできる在宅介護サービス」についてお話をします。

小規模多機能型居宅介護事業所管理者 大森 町子氏(小規模多機能ホームてんとう虫)

元気な時には予想もしなかった介護の世界、お世話を受ける・世話をする立場にもなる現実。もし、そうなった時でも介護負担や仕事を憂えず、住み慣れた地域で家族や馴染みの人達に囲まれて暮らして頂くために、私たちの小規模多機能事業所は「馴染みの関係」を発揮して一つの事業所で「通い泊り・訪問ヘルプ・受診介助」を365日応援をします。急な事態にも即対応可能です。ご本人・ご家族に安心を提供できるように頑張っています。

看取り経験者 新田 弘子氏

「死刑宣告は自分で聞く。」「治らない為の治療はしない。」末期肝臓ガン、余命3ヶ月の命と向き合う為に、父は自宅での最期を選びました。その時間の中で父が実感したものは「自分が決して孤独ではなく、自分を愛してくれる人がいる」ことだったと思います。

私たち家族が見たものは、父の全身から溢れた一人ひとりへの感謝です。自らの死が、家族、親戚、友人への最高の贈り物となる。これこそ思い残すことのない人生だと思えます。

MEMO



「『わが家』 自宅からの旅立ち」

著者：定本 和子

自宅（岡山市）でお母様を介護された68日間の記録を1冊の本にまとめておられます。

「今後、家に帰りたいと願う方のうち、少しでも多くの方が『わが家』に帰ることが出来、大切な家族の時間が持てますように、これからますますの在宅医療・介護の充実、そして普及を心より願っています」

（あとがきより抜粋）



（ケアチームの方々と）



（ご家族と）

* 自費出版のため書店では購入できません。

入手方法につきましては岡山市新病院・保健福祉政策推進課 086-803-1637 へお問い合わせください。